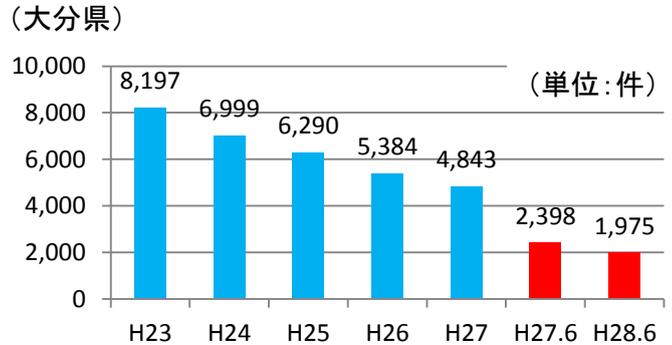
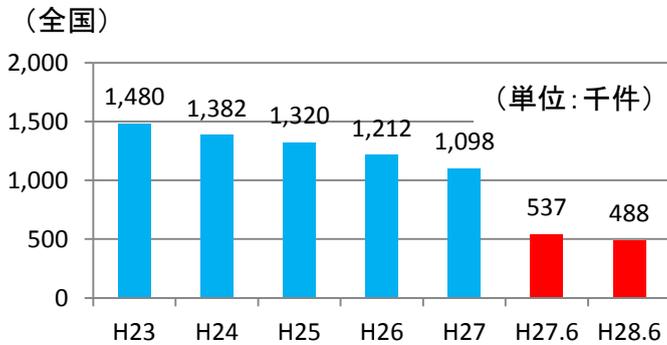


平成28年上半期の犯罪情勢

1 刑法犯認知件数の推移

※「刑法犯」とは、交通事故にかかる罪を除いた「刑法」に規定する罪などをいいます。
※認知件数とは、警察が発生を認知した事件の数をいいます。



- 全国的に刑法犯認知件数は減少しています。
- 大分県も平成15年の1万7,362件をピークに12年連続減少しており、今年も減少傾向にあります。

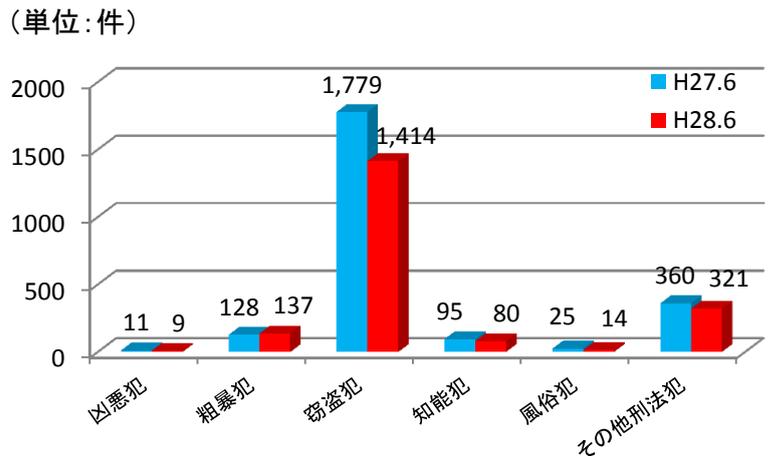
2 大分県の刑法犯の罪種別認知件数(H28上半期)

- 刑法犯のうち最も多く発生しているのが窃盗犯です。
- 粗暴犯(暴行、傷害、脅迫等)がわずかに増加しています。

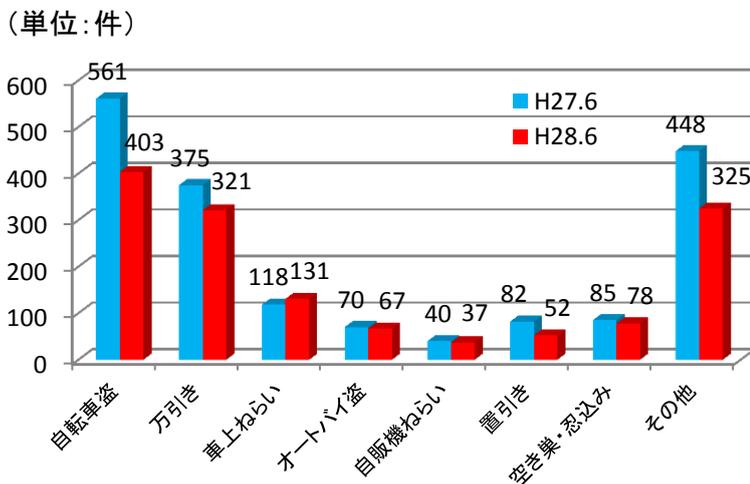


まもる君

防犯意識を持って、
みんなで大分県を
まもろう！！



3 大分県の窃盗犯の内訳(H28上半期)



- 窃盗犯のうち最も多いのが自転車盗です。
- 自転車盗の約67%は無施錠での被害です。
- 車上ねらい、置き引きは被害件数が増加しており、注意が必要です。

自転車盗、車上ねらい、空き巣・忍込みなどは鍵かけで被害にあう危険性が低くなるよ。みんな鍵かけをしようね！！

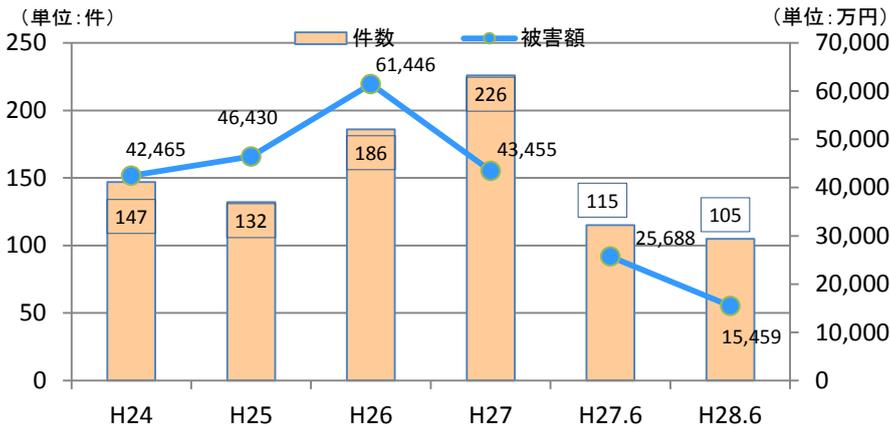


かける君

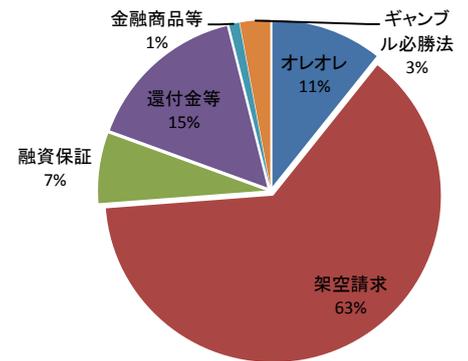
4 大分県の特種詐欺

(発生状況)

(単位: 件)



(手口別割合: H28.6末現在)

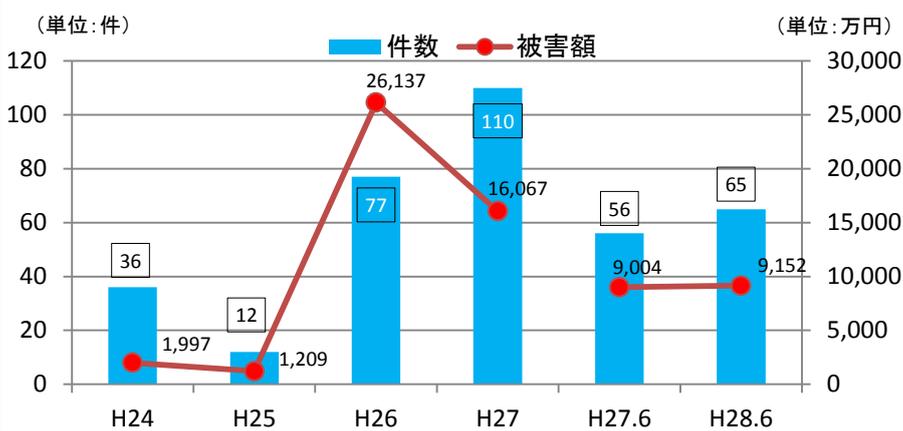


- 刑法犯認知件数は、毎年減少していますが、特種詐欺被害は高止まりが続いています。
- 被害者の年齢別割合は、高齢者(65歳以上)と65歳未満の割合がほぼ半分となっています。

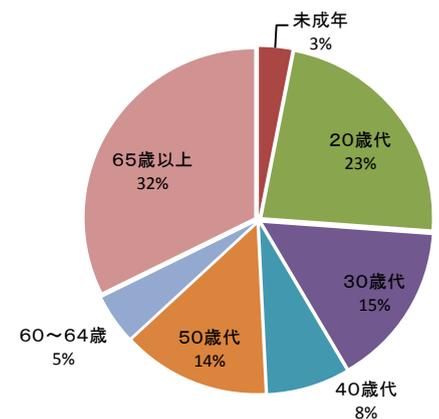
5 大分県の架空請求詐欺

(発生状況)

(単位: 件)



(被害者の年齢別割合: H28.6末現在)



- 特種詐欺のうち、最も発生が多いのが架空請求詐欺です。
- 架空請求詐欺では、比較的年齢の若い方が被害にあう傾向にあります。
- 架空請求詐欺は、ある日突然、あなたの携帯電話に、「有料サイトの利用料、登録料が支払われていない」などと電話やメールがきて、現金を要求したり、コンビニで電子マネーを購入させたりします。
- ほとんどの方は、携帯電話でインターネットをしたり動画を見たり音楽を聞いたりしています。被害にあう方は「もしかしたら知らない間に有料サイトを利用していたのかも知れない」と不安になり、誰にも相談しないまま、被害にあっています。
- これは、詐欺の手口で、人の不安な気持ちにつけ込み、さらには「今日中に支払わなければ裁判を起こす」などと脅してきますが、絶対に従わないで下さい。



みなさんへのお願い

- ☆ 特種詐欺は、自分自身で注意をすることはもちろんですが、身近な方々のちょっとした心配りで防ぐことができます。
- ☆ 年配のお父さん、お母さんをご実家に残されている方は、オレオレ詐欺に注意！！こまめに連絡を取り合しましょう。
- ☆ ATMコーナーに行った時、年配の方が携帯電話で話しながら操作をしていませんか？還付金詐欺に騙されているのかも知れません。声かけをしてみてください。
- ☆ 日頃から、家族やお友達などと特種詐欺の手口などについて話をし、お互いで被害にあわないように注意をしましょう。